

# ご当地検定 「地元を愉しむ。タマケン。」 知のミュージアム 多摩・武蔵野検定

## 多摩・武蔵野検定 受験のご案内

	ジュニア	マスター4級	マスター3級	マスター2級	マスター1級
受験資格	小・中学生	どなたでも			マスター2級合格者
出題形式	択一(2~3択)	択一(2~4択)			択一、記述、論述
問題数	25問	50問	100問		43問前後
試験時間	30分	60分	90分		
検定料金(1人あたり)	個人ウェブ受検	1050円 ※1	1575円		3150円
	会場ウェブ受検	受検料+1050円 ※2			
	会場筆記(1級のみ)	-			5250円 ※3

(注) ウェブ受検の受験期間は2013年12月31日までですが、ログイン後50日の間に受験して下さい。  
 ※1 小・中学生がクラス・学校単位でお申し込みの場合、ジュニア検定料は無料です。また、学生が学校・ゼミ・サークル等の単位でお申し込みの場合は4級のみ受検料無料です。  
 ※2 会場ウェブ受検は、11月10日(土)午前10時30分~正午に、立川市内で行います(事前申込制)。申込方法等の詳細はお問い合わせ下さい。  
 ※3 マスター1級の会場筆記受検は、11月17日(土)午前10時30分~正午に多摩市内で行います(事前申込制)。申込方法等の詳細はお問い合わせ下さい。

多摩・武蔵野検定(通称タマケン)は「多摩・武蔵野地域が大好き」な人を多く育てるための、ご当地検定試験です。タマケンを通じて地域の魅力を再発見しませんか。今年からこれまでの会場(筆記)試験をウェブ検定に切り替えます。また、多摩地域30市町村ごとの検定であるマスター4級、小学生も楽しめるジュニア検定を新設しました。検定内容は公式テキスト

トをもとに、自然、歴史、産業、文化などさまざまな事柄を出題します。  
 ※詳細・申し込みは多摩・武蔵野検定事務局(☎042・548・3588)(受付時間08:00~17:00)へ。  
 問 企画政策課 ☎724・2103 FAX 050・3085・3082

## 環境にやさしい運転——事業所向け

### エコドライブ教習会を開催します

自動車教習所のインストラクターが、燃費計を付けた車で運転指導する、「エコドライブ教習会」を行います。

対受講した技術を社内で広めていただける事業所  
 日 11月12日(月)、13日(火)、20日(火)、21日(水)、22日(木)、29日(木)、30日(金)  
 (火)、12月6日(木)、11日(火)、12日(水)、13日(木)、いずれも午前9時~午後0時30分

後の燃費改善が期待でき、CO<sub>2</sub>や大気汚染物質の削減につながります。指導前後で燃費を計測し、走行状況の診断書をお渡ししますので、燃費の改善が実感できます。

場 町田ドライビングスクール(南大谷1-55)  
 定 各日3人(申し込み順、原則1事業所1人の参加)  
 申 申請書(環境・自然共生課で配布、町田市ホームページ

**町田市職員募集(2013年4月採用予定)**  
 現在、下記職種の募集を行っています。詳細は試験実施要項をご覧ください(市役所、各市民センターで配布、町田市ホームページでダウンロードも可)。  
**募集職種**  
 ○保育士 ○児童厚生員 ○保健師  
 問 職員課 ☎724・2199

**町田市地域防災計画(修正案)** 問 防災安全課 ☎724・3218 FAX 050・3085・6519  
 まちを守るためのご意見をお待ちしています

2011年3月11日に発生した、東日本大震災に対する市としての対応等の検証結果や、2012年4月に東京都が発表した、「首都直下地震等による東京の被害想定」等を踏まえ、町田市地域防災計画の修正を行います。

## 町田市地域防災計画(修正案)の概要

- 修正のポイント**  
**災害情報の連絡手段見直し**  
 ○防災関係機関との情報伝達を確実にするための衛星携帯電話の配備充実  
 ○防災行政無線のスピーカーの調整や増設による難聴地域対策  
 ○防災情報メール配信サービス、防災行政無線フリーダイヤル(音声応答システム)、ニューメディアなど、多様な手段による情報伝達方法の整備と運用  
**避難対策の見直し・充実**  
 ○東京都の新たな被害想定のもと、増大した避難者に対応する備蓄物資・資機材等の強化  
 ○避難所における地域の運営力の強化  
 ○東日本大震災時の避難所における反省に基づいた、男女平等の視点による避難所運営への配慮  
**帰宅困難者対策の充実**  
 ○東京都帰宅困難者対策条例に基づいた対策の推進と条例の内容の普及啓発  
 ○帰宅困難者の一時滞在施設の明確化

- 事業所等における帰宅困難者向け備蓄品等の充実  
 ○学校等における児童・生徒・園児等の保護と引き取り等の対応  
**災害時医療対策**  
 ○救急救護の活動拠点として、新たに市内11か所に「災害連携病院」を設定  
 ○救急救護活動拠点での医薬品不足を防ぐための、町田市薬剤師会・医薬品卸等との協力体制構築と流通備蓄体制の検討  
**被災地支援体制**  
 ○他地域で発生した大規模地震災害の際、町田市から迅速な支援が行える体制を構築  
**原子力災害対策**  
 ○東日本大震災時の福島第一原子力発電所事故の教訓から、町田市域にも影響が及ぶ原子力災害を想定し、独立した章として策定  
**町田市職員の得た経験・教訓の取り込み**  
 ○被災地へ派遣した職員の経験や、そこから得られた教訓の反映  
 ○職員防災訓練による検証結果を計画へ反映

## ご意見の提出方法

- 募集期間** 11月1日(木)~26日(月)  
**資料の閲覧・配布** 計画(修正案)は町田市ホームページに掲載しています。また、次の窓口で閲覧及び資料の配布を行っています。  
**配布場所** 防災安全課(市役所本庁舎3階)、市政情報課(市役所本庁舎1階)、広聴課(市役所本庁舎1階)、各市民センター、木曾山崎・玉川学園文化の各センター、町田・南町田・鶴川の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館、男女平等推進センター(町田市民フォーラム3階)  
 ※各窓口で開庁日・時間が異なりますのでご注意ください。  
**意見の提出方法**  
 郵送、FAX、Eメール、または防災安全課ほか、資料を配布している上記窓口へ直接提出して下さい。郵便の場合は配布資料に添付している専用封筒(料金受取人払郵便)をご利用いただけます。  
**提出先** 防災安全課(市役所本庁舎3階、〒194-8520、森野2-2-22、☎724・3218 FAX 050・3085・6519) 郵局番号city1070@city.machida.tokyo.jp

**注意事項**  
 書式は自由ですが、住所・氏名・連絡先・案件名を明記して下さい/電話、窓口での口頭によるご意見はお受けできません/ご意見への個別の回答は行いません/公序良俗に反するもの、特定の団体・個人等に対する誹謗中傷が含まれるものは無効とします/寄せられたご意見の概要及び市の考え方は、個人情報を除き、2013年1月ごろに公表します。

**健康づくり**  
**食生活講演会**  
 日 12月1日(土)午後2時~4時  
 場 健康福祉会館  
 内 うつ病を予防する食事について分かりやすく解説  
 講(独) 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部長 功刀浩氏  
 定 100人(申し込み順)  
 申 11月1日正午から電話でイベントダイヤル(☎724・5656)へ。

**健康づくり**  
**健康講演会**  
 日 12月3日(月)午後2時~4時  
 場 町田市保健所  
 講 東京都立多摩総合精神保健福祉センター広報援助課長・平賀正司氏  
 定 50人(申し込み順)  
 申 11月30日午後5時までに電話で保健対策課(☎722・7636)へ。FAXでのお問い合わせはFAX722・3249へ。

**健康案内**  
**予防接種**  
 11月から始まります  
**四種混合予防接種**  
 11月1日から定期予防接種として、四種混合予防接種が始まります。  
 対象の方には、3~4か月健診のご案内に、通知を同封します。接種方法等の詳細については、町田市ホームページでもご確認いただけます。  
 ※四種混合ワクチンとは、百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオの混合ワクチンです。  
**場** 市内の指定医療機関  
 ※既に三種混合ワクチンの接種を開始されたお子さんは、そのまま三種混合の接種を続けて下さい。  
 問 健康課 ☎725・5422 FAX 725・5198

**消費者懇談会・健康教室**  
 「お魚の大研究・ヨガで学ぶ簡単なストレッチ」  
 町田食品衛生協会会員や一般の方  
 日 12月4日(火)午後2時30分~4時  
**場** 町田商工会議所  
**内** 魚についての豆知識、食品関係業者を交えた質疑(質問は申し込み時に申し出を)、簡単なストレッチ体操  
**講(財)** 水産物市場改善協会  
 おさかな普及センター館長・坂本一男氏、カズコ・インターナショナル(株)代表 千葉和子氏  
 定 60人(申し込み順)  
 申 電話で生活衛生課(☎722・7254)へ。FAXでのお問い合わせはFAX722・3249へ。